57周年創立記念礼拝
「とどまる教会」

ヨハネ 15:5

2019.9.15　HKJCF

概観

イエス様が教えておられる「**教会観**」について、「ぶどうの木と枝」のたとえから学び、**教会の成長**に適用したい。

アウトライン

1. 「とどまる」ことの祝福
2. 「実を結ぶ」ことの祝福
3. 適用

ヨハネ 15:5

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は　多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

1.「とどまる」ことの祝福

1）ぶどうの木と枝：**命**を前提に。しっかりと**つながっている重要性→恵まれた**生き方。

2）とどまる：（μένω, *menó*）＝**居残る**、滞在する；「共にいる」**存在感**。神は**御言葉**を介して、**御霊**によって成長させてくださる。

3）イエス様と聖霊様：**受肉**のイエス様（神性と人間性）；**一つにしてくださる**聖霊様。

4）キリストの体：**不完全さ**が共通点；**共感の力**；**心と心**のつながり→**証の効果**。

2.「実を結ぶ」ことの祝福

1）命と成長のしるし：**関係の中**で；**御霊の実**（ガラテヤ 5:22-23）；**光の結ぶ実**（エペソ 5:8-13）。

2）神と教会から離れない生き方：**良い畏れ**；**何もできない**意識；**へりくだり**と**信頼**の訓練。

3）祈り合う関係：**主の臨在**と**自分の存在**の影響（マタイ 18:19-20）；建物→**人との共感**。

4）恵みの分かる共同体：**感謝**の気持ち；「神の家族」（エペソ 2:19）＝**家族**として**支え合い**、**笑い合う**関係。**無難な**人生→**有難い**人生。

適用

1）祈り合う教会に成長するように：

人間**皆が不完全**であることを受け入れ、**自分の葛藤と弱さ**を分かち合い、祈り合うことにより、**神と隣人の関係**を深めよう。

2）感謝を表す教会に成長するように：

兄弟姉妹を通して**与えられている交わり**、**祈られている恵み**を感謝していこう。